



綴プロジェクト作品 ふうじんらいじんずびょうぶ 風神雷神図屏風

俵屋宗達筆 寄贈先：大本山 建仁寺 原本所蔵：大本山 建仁寺

### 屏風を駆け巡る風神雷神。

風袋を携えて、黒雲とともに現れた風神。雷太鼓を力強く打ち鳴らす雷神。琳派を代表する絵師、俵屋宗達は、この二神に独自の色彩を施すとともに、立体感を生み出す特別な技法を用いている。金地の画面が生み出す無限の奥行きに、水墨画の特殊な技法で描かれた雲を纏いながら、浮遊する二神。屏風の両端に配置された風神と雷神の間に設けられたスペースが、画面の広がりを生み出し、他に類を見ない空間性を持つて、観る者に大きな感動を与える。

綴プロジェクトは、「風神雷神図屏風」の高精細複製品を制作し、建仁寺に寄贈、一般公開を可能にしました。尾形光琳など琳派を中心に多くの絵師から模範として描かれてきた、宗達の「風神雷神図屏風」。これからも、日本を代表する国宝として、世界の人たちを魅了していくことでしょう。

日本の美を、人へ、未来へ、伝えていく。

日本の美を継承していくために  
綴プロジェクト作品（高精細複製品）  
◆国宝◆

Vol.7

『風神雷神図屏風』 俵屋宗達筆

綴TSUZURI  
文化財未来継承プロジェクト

「綴プロジェクト」は、貴重な日本の文化財を高精細複製品として制作し、オリジナルの文化財の保存と複製品の公開を目的とする社会貢献活動です。海外に渡った文化財を高精細複製品として、日本に「里帰り」させているほか、綴プロジェクトで制作した作品35作品は、寄贈先の美術館や寺院などでの一般公開や、歴史教育の現場で生きた教材として、日本の優れた文化や芸術に、より身近に接する機会を提供しています。



詳細は、公式サイト  
でご覧いただけます。  
[global.canon/ja/tsuzuri](http://global.canon/ja/tsuzuri)

#### 公開情報

綴プロジェクト作品・風神雷神図屏風は建仁寺にて公開されています。

Canon